

1

教育

「埼玉大学×芝生広場 コミュニティ アートプロジェクト」をお披露目

 Vol. 38
 February
 2024

10月17日(火)、さいたま新都心 たまアリ△タウンけやきひろば内「芝生広場」にて、本学と株式会社さいたまアリーナとが連携して進めてきた「埼玉大学×芝生広場 コミュニティアートプロジェクト」のお披露目会を開催しました。

このプロジェクトは、2023年度第1タームにて実施された授業「課題解決型プログラムd」(基盤科目全8回)において、学生たちが「たまアリ△タウンにイベントがない日でもにぎわいを生み出す仕掛けづくり」として提案したプロジェクトの1つが採用されたものです。施設を所有する埼玉県と、施設の管理運営を行うさいたまアリーナと本学とが協力し、子どもたちが走ったり、遊んだりできる広場を設けることで、子どもや子育てにやさしい社会となることを目指すとともに、地域社会の活性化を促進する目的で実現に至りました。

お披露目会では冒頭に坂井学長が、「学生グループが提案したアイデアのひとつである『埼玉大学×芝生広場 コミュニティアートプロジェクト』が採用され、けやきひろばが子どもたちが遊べるスペースにリニューアルされるという形で実現化したことは、学生にとって自信になり、誇らしいことだと思います」と述べ、続いて三上社長は、「行政、大学、企業がそれぞれの力を発揮し、『さいたまの新たな辻としてのさいたま新都心』の賑わいづくりに貢献していきたい」と抱負を述べました。また、山科部長は「芝生広場が子どもたちや家族連れにとって楽しい場所となり、地域の活性化に寄与してくれることを期待しています」と述べました。



▲プロジェクトを提案した学生を囲んで記念撮影

(左から) さいたまっち、コバトン、柳澤理事(教学・学生担当)・副学長、坂井学長、須藤さん、浅川さん、近藤さん、加藤さん、石阪教授、メリンちゃん、たまーりん



▲株式会社さいたまアリーナ 三上浩嗣 代表取締役社長



▲埼玉県都市整備部 山科昭宏 部長



▲ひろばの全景

2
同窓会

ホームカミングデー 2023を開催

～創基150周年記念講演会で、埼玉大学のルーツを辿る～

11月25日(土)、卒業生・元教職員・地域の皆様など、本学と関係ある方々と大学をつなげるイベント「ホームカミングデー」を開催しました。

今年度は4年ぶりにコロナ禍以前と同様のプログラムで、同窓会との共催により、歓迎会、講演会ならびに軽食による懇親会を開催しました。

また今年度は、本学が創基150周年を迎えたことを記念し、ホームカミングデーにて記念講演会を2部構成で行いました。第1部は、「埼玉県改正局・埼玉県師範学校から埼玉大学へ」と題して、同窓会顧問の金子 美智雄氏が登壇。明治6年の埼玉大学のルーツとなった学校の起源に遡る創立について、当時の文部省(現文部科学省)や埼玉県との認可に関する協議など学制に至るまでの経緯などをご講演いただきました。

第2部は、「瑤沙原の日々ー旧制官立浦和高等学校とその伝統ー」と題して、人文社会科学研究科の井上 智勝教授が、当時の学風や学生の気質、学業が大変に優秀であったとのお話のほか、大学図書館内に設置している同校の記念資料室のリニューアルなどについて講演しました。



▲歓迎会で挨拶する坂井学長



▲金子美智雄 同窓会顧問



▲井上智勝教授

3
学生

令和5年度10月期学生表彰を挙行ー優れた学術研究・課外活動の成果を称えて

11月25日(土)、ホームカミングデーの懇談会にて、令和5年度10月期学生表彰式を挙行了しました。

この表彰は、学術研究等の成果が優れている学生、課外活動の成果が特に顕著である学生、社会活動において優れた評価を受けた学生、その他表彰に値すると認められた学生を表彰する制度です。

今回は個人表彰11名および団体表彰3団体に対して坂井学長から表彰状が授与され、学生後援会より記念品が贈呈されました。



▲坂井学長を囲んで記念撮影

4
学生

「第19回 日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」にて 学生チームが最優秀賞を受賞(経済学部 長田健ゼミ)

本学経済学部3年生の河原伸太郎さん、阿部綾華さん、五十嵐安美さん、諸見里健四郎さん、米元綾音さん(長田健ゼミ)のチームが、「第19回 日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」に出場しました。『投信レンズ～「貯蓄から投資へ」の第一歩～』と題した提言は予選(書類審査)を通過し、11月25日(土)に日本銀行本店で実施された決勝大会に進出。論文内容のプレゼンテーションおよび審査員(審査委員長:水見野日本銀行副総裁)との質疑応答に挑み、応募総数105編の中から見事「最優秀賞」を受賞しました。



▲受賞を喜ぶ長田ゼミ学生たち

令和5年度学長表彰にコスキヴィルタ准教授、阿部准教授、半田准教授の3名

11月10日（金）、令和5年度学長表彰式を開催しました。学長表彰は、職務に顕著な功績があった教職員や社会的な功績があった教職員を表彰することを目的として平成29年度に創設した制度です。今回は、教育・研究活動に顕著な功績があった3名の教員に「学長賞」「学長奨励賞（研究）」、「学長特別賞（みずき賞）」が授与されました。

式では、坂井学長から各受賞者に対し、表彰状及び副賞が授与されました。坂井学長は挨拶で、研究分野における各受賞者の功績を称えた後、コロナ禍の困難な状況下でありながら多くの功績を挙げてこられた努力は賞賛に値すると述べ、今後のご活躍も大いに期待していますと激励しました。

（前列左から）学長賞のコスキヴィルタ准教授、坂井学長、学長奨励賞の阿部准教授、学長特別賞の半田准教授、（後列左から）石井理工学研究科長、柳澤理事、松田理事、三浦総務部長



埼玉大学卒業の留学生在がモンテネグロ首相に就任

10月31日（火）、バルカン半島に位置するモンテネグロ（人口約62万人、首都 ポドゴリツァ）の新しい首相にミロイコ・スパイチ氏が就任しました。スパイチ氏は国費留学生として本学経済学部で4年間学び、2012年に卒業した本学の卒業生です。

スパイチ氏の首相就任に際し坂井学長は「日本とモンテネグロの友好関係を一層深め、両国の関係を強化してくださることを期待しております」とコメントを発表し、祝意を送りました。



▲外務省ホームページから引用

ウクライナのポルタワ国立教育大学・リヴィウ国立大学教授が本学を表敬訪問

12月8日（金）、ポルタワ国立教育大学からオリガ・ニコレンコ教授、リヴィウ国立大学からリディヤ・マツェフコーベケルスカ教授、カテリーナ・ニコレンコさん（大学院生）が来学し、坂井学長を表敬訪問しました。

ポルタワ国立教育大学と本学は、2021年に大学間交流協定を締結し、2022年度、2023年度とウクライナ避難学生受け入れ支援を行いました。また埼玉大学では、2020年度からポルタワ国立教育大学、リヴィウ国立大学とオンラインの合同授業を実施しており、この度の表敬訪問となりました。

オリガ・ニコレンコ教授から、ウクライナ避難学生受け入れ支援について、学長に謝辞が述べられました。野中教養学部長は、ポルタワ国立教育大学と協力して、ウクライナの子どもたちへ向けて「紙芝居 桃太郎」のオンライン授業を実施したほか、本学の講義の中でポルタワ国立教育大学学生とオンラインによるミーティングを実施するなど、交流を図っています。

今後の両大学の更なる交流の推進について、有意義な意見交換が行われました。

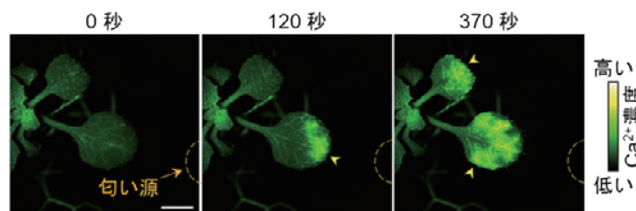


▲（左から）柳澤理事、オリガ・ニコレンコ教授、坂井学長、リディヤ・マツェフコーベケルスカ教授、カテリーナ・ニコレンコさん、野中教養学部長

植物が“匂い”を感じる瞬間の可視化に成功 （大学院理工学研究科 豊田正嗣教授）

大学院理工学研究科の大学院生 荒谷優里さんと豊田正嗣教授らの研究グループは、植物が昆虫にかじられるなどした際に発す“匂い”を、近隣の植物が感じた瞬間に発生させるカルシウム（ Ca^{2+} ）シグナルの可視化に成功し、このシグナルが植物に危険情報を伝え、昆虫に対する防御反応を引き起こしていることを明らかにしました。

植物が匂い物質を使って、別の個体と情報のやりとり（植物間コミュニケーション）をしていることは、古くから報告されていましたが、これまでリアルタイムで可視化した研究はありませんでした。本成果は、10月17日（火）に、英国科学雑誌『Nature Communications』に公開され、大きな反響を呼んでいます。



▲匂い源（左図）からの匂いを感じた葉で Ca^{2+} シグナルが発生している

9
特集

生活リズムを見直し、健康的な食生活を! 100円朝食を期間限定で開催

11月9日(木)～22日(水)の土日祝を除く10日間、学生食堂にて100円で朝食を提供する「100円朝食」を実施しました。この取り組みは埼玉大学基金の支援事業として行われたもので、期間中は毎朝8時から埼玉大学生協第2食堂にてご飯、みそ汁、主菜1品、副菜1品の朝定食が提供されました。

初日は、ご飯、みそ汁、牛肉コロッケ、きんぴらの定食が限定100食で提供されたところ、開始10分で売り切れに。これを受け、13日(月)からは30食増量され、限定130食の提供へ変更になりました。

10日間で延べ1208名の学生が利用した今回の取り組み。学生からは「自宅が遠方なので、朝食を食べる時間をとれず、大学に着くころにいつもお腹が空くので、立派な朝食を安く食べることができて、とてもありがたかったです」といった感想が寄せられています。



▲2日目のメニュー(ご飯、みそ汁、アジフライ、いんげんのごま和え)



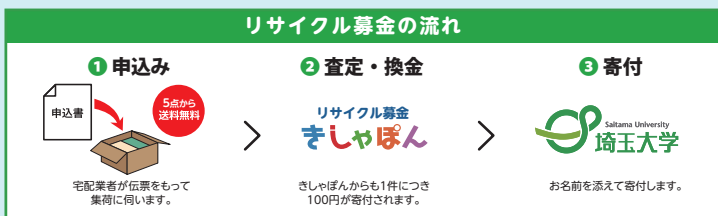
▲多くの学生で賑わう100円朝食会場

埼玉大学基金室より 埼玉大学リサイクル募金 きしゃぼんのご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。「埼玉大学リサイクル募金」は、皆様から読み終えた本・DVD・ブランド品等をご提供いただき、その査定換金額を埼玉大学基金の目的の一つ「埼玉みらい基金」に寄附する取り組みです。本取り組みによるご寄附は、**大学図書館の蔵書充実のために**活用させていただきます。皆様からのご支援をお待ちしております。



埼玉大学の学びのための
教育・研究図書に生まれ変わります!



(WEB受付) 24時間・365日

WEB 埼玉大学リサイクル募金 www.kishapon.com/saitama-u/

(電話受付) 9時～18時

0120-29-7000 [埼玉大学への寄付]とお伝えください

◆埼玉大学基金へのご寄附の累計額

令和5年12月末の状況 **693,462,911**円

うちリサイクル募金 きしゃぼん によるご寄附 **1,488,408**円

募金になるもの(一例)

- 本
- DVD
- CD
- ゲーム
- 切手
- はがき
- 貴金属
- ブランド品

書籍はISBNコードがあるかご確認ください。
※裏表紙、奥付等にあります。

ISBN978-4-123-45678-9

※その他、商品券、スマホ、楽器、骨董品等、まずはご相談ください。

お問い合わせ先 埼玉大学基金室 (総務部広報渉外課内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp

